

学校生活に関する保護者アンケート結果

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

回答者 558 名

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

<p>学校は、児童の学力向上に向けて、授業改善に努めている。</p> <p>■ + ■ 88.2%</p>	<p>56.3% (Red), 31.9% (Blue), 10% (Yellow), 1.8% (Green)</p>	<p>学校は、一人一人の理解に努め、その子に応じた指導をしている。</p> <p>■ + ■ 79.9%</p>	<p>56.6% (Red), 23.3% (Blue), 17.6% (Yellow), 2.5% (Green)</p>
<p>お子さんは、意欲的に授業に取り組んでいる。</p> <p>■ + ■ 86.7%</p>	<p>53.4% (Red), 33.3% (Blue), 10.9% (Yellow), 2.3% (Green)</p>	<p>学校は、道徳や学級活動、守谷いじめ防止プログラム等を通して、いじめのない学校づくりに努めている。</p> <p>■ + ■ 90.1%</p>	<p>59.1% (Red), 31% (Blue), 8.8% (Yellow), 1.1% (Green)</p>
<p>お子さんは、iPad を使用して自主学習に取り組んでいる。</p> <p>■ + ■ 62.3%</p>	<p>40.1% (Red), 22.2% (Blue), 29.4% (Yellow), 8.2% (Green)</p>	<p>学校は、過大規模校としての教育課程（A・B 日課、昼休み 3 部制など）の工夫や中央黒内公園の借用により、授業や休み時間など外での活動の確保に努めている。</p> <p>■ + ■ 84.2%</p>	<p>52.7% (Red), 31.5% (Blue), 13.6% (Yellow), 2.2% (Green)</p>
<p>学校は、授業での電子黒板やタブレット PC の活用等を通して、社会で活用する力を育てている。</p> <p>■ + ■ 91.2%</p>	<p>57.9% (Red), 33.3% (Blue), 7.2% (Yellow), 1.6% (Green)</p>	<p>学校では、電話や来校者への対応は適切であり、丁寧である。</p> <p>■ + ■ 95.4%</p>	<p>43.4% (Red), 52% (Blue), 2.9% (Yellow), 1.8% (Green)</p>
<p>お子さんは学校に行くのが楽しそうである。</p> <p>■ + ■ 89.8%</p>	<p>39.4% (Red), 50.4% (Blue), 7% (Yellow), 3.2% (Green)</p>	<p>学校は、スクリレ、Classroom や電話、面談等を利用して保護者との連携を積極的に行っている。</p> <p>■ + ■ 90.9%</p>	<p>46.8% (Red), 44.1% (Blue), 7% (Yellow), 2.2% (Green)</p>
<p>お子さんはあいさつがしっかりとできている。</p> <p>■ + ■ 73.9%</p>	<p>50.4% (Red), 23.5% (Blue), 23.5% (Yellow), 2.7% (Green)</p>	<p>学校は、HP を利用して児童の様子や教育活動の積極的な情報発信を行っている。</p> <p>■ + ■ 84.7%</p>	<p>49.8% (Red), 34.9% (Blue), 13.1% (Yellow), 2.2% (Green)</p>
<p>お子さんは、思いやりや感謝の心が育っている。</p> <p>■ + ■ 91.6%</p>	<p>55.6% (Red), 36% (Blue), 8.1% (Yellow), 0.4% (Green)</p>	<p>学校は、過大規模校としての運動会や引渡訓練など、行事運営の改善に努めている。</p> <p>■ + ■ 85.8%</p>	<p>50.9% (Red), 34.9% (Blue), 10% (Yellow), 4.1% (Green)</p>
<p>お子さんは、交通ルールを守っている。</p> <p>■ + ■ 97.9%</p>	<p>46.1% (Red), 51.8% (Blue), 2.2% (Yellow)</p>	<p>小学校 1 年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子さんが英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思う。</p> <p>■ + ■ 79.1%</p>	<p>46.1% (Red), 33% (Blue), 17.2% (Yellow), 3.8% (Green)</p>

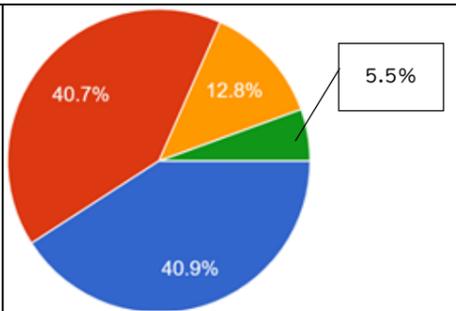
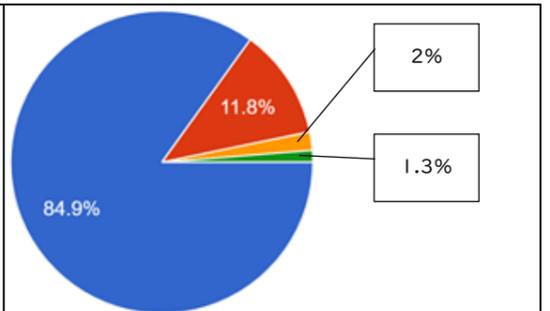
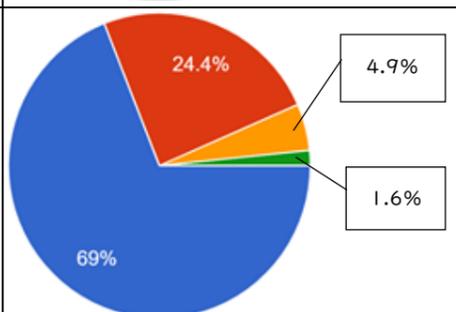
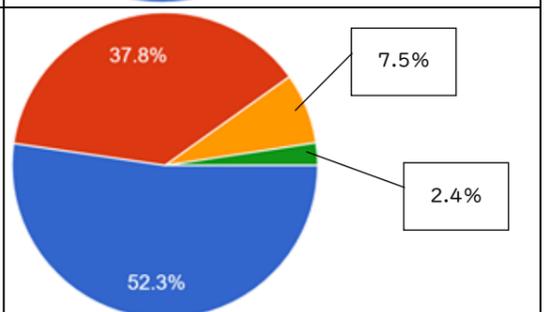
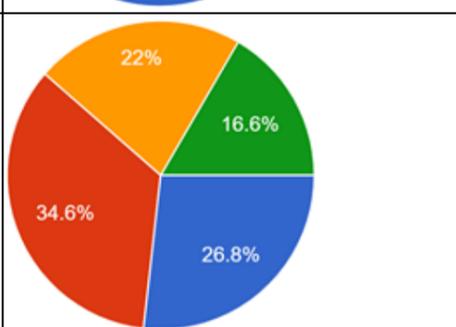
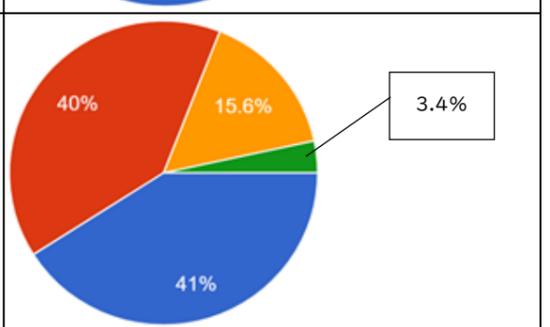
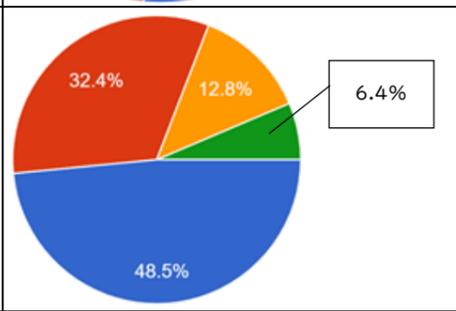
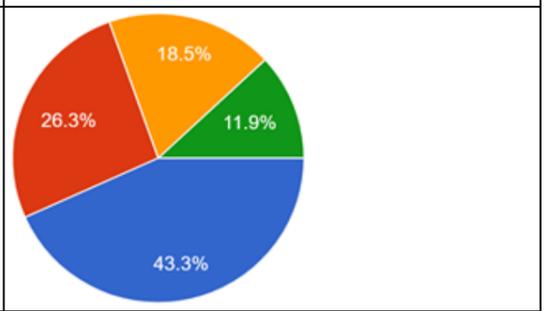
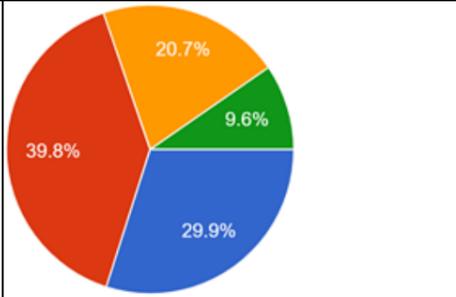
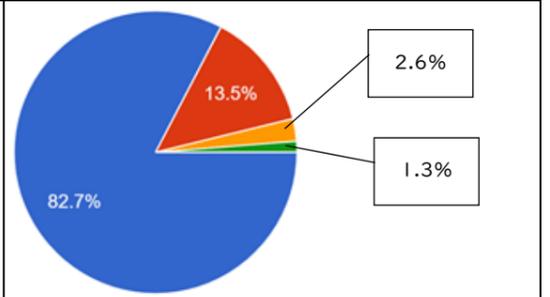
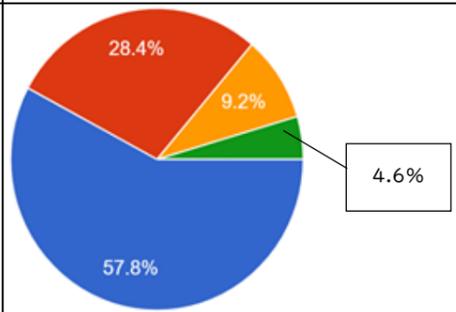
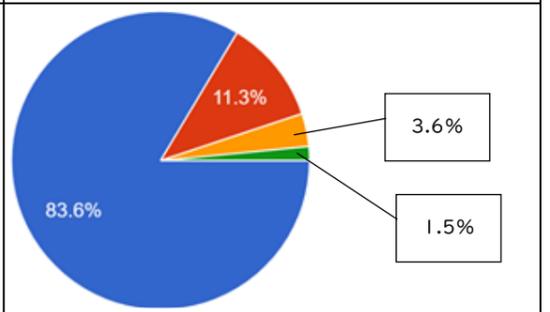
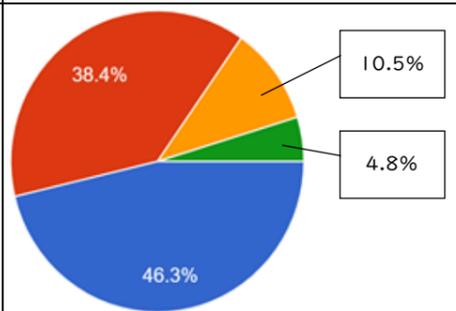
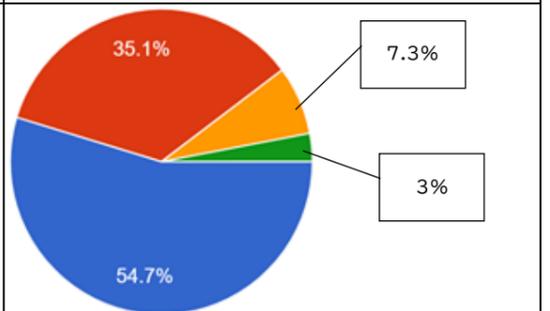
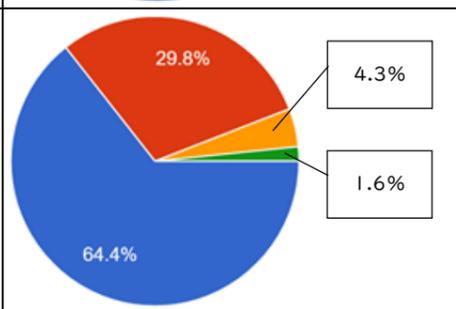
・ A+B の割合が 80% を超える項目が、16 項目中 12 項目ありました。8 割に届かなかった項目については改善・発信に努めて参ります。

・ 自由記述では、スクリレ、1 人 1 台端末（タブレット）、過大規模、登下校、体育的行事、学校施設の安全（施設等）に関するご意見を多く頂戴しました。今後の学校運営に生かしていきたいと思ひます。

学校生活に関する児童アンケート結果

回答者 1176名

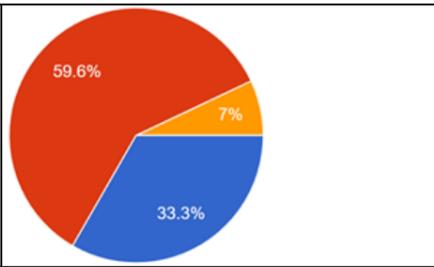
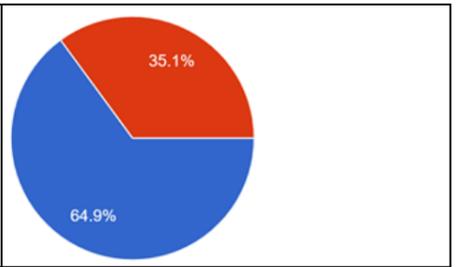
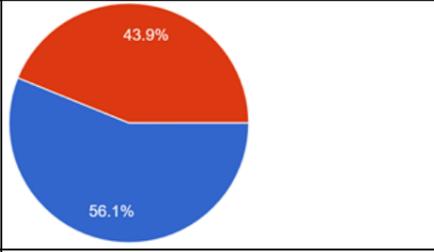
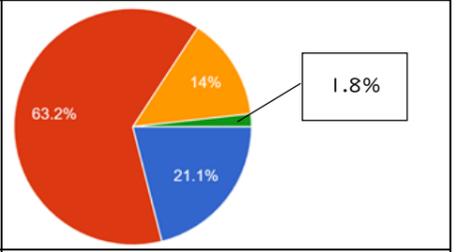
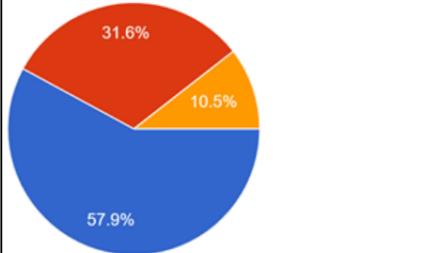
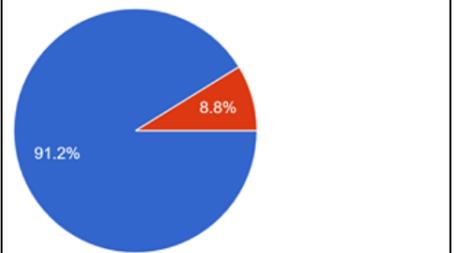
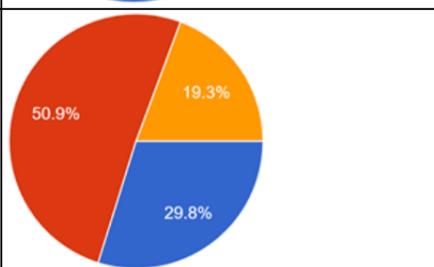
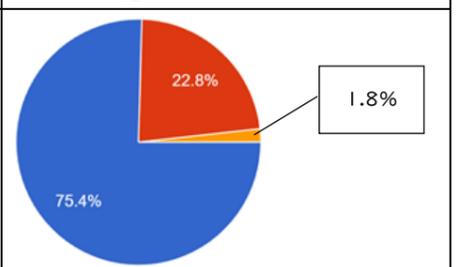
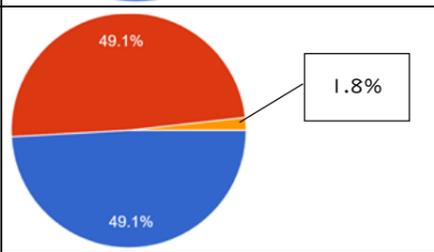
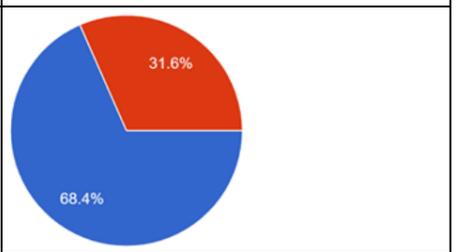
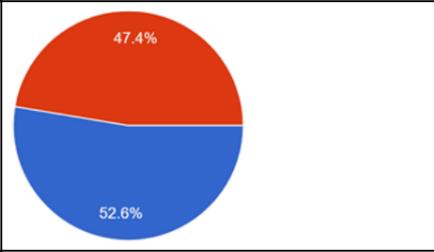
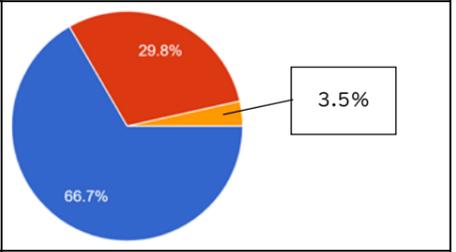
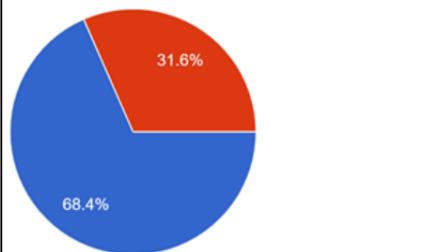
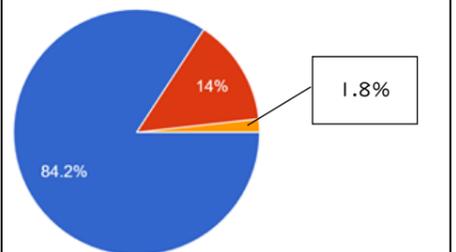
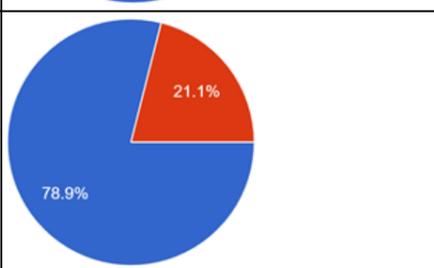
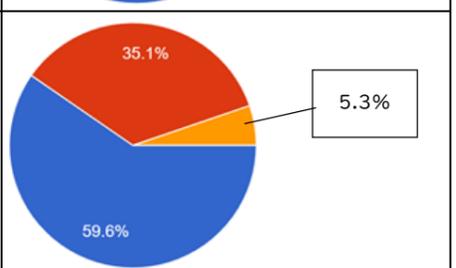
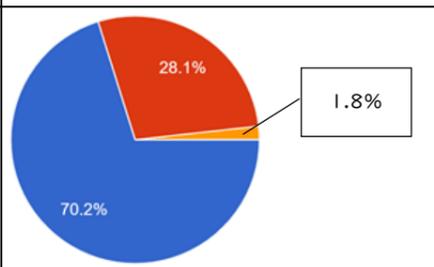
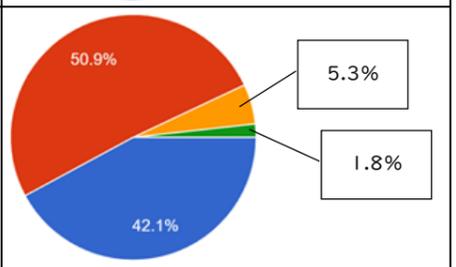
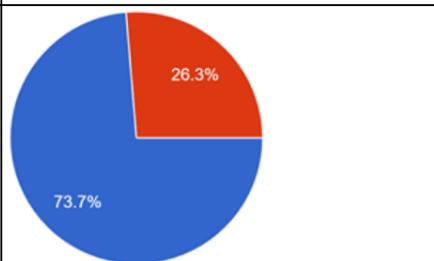
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

<p>自分にはよいところがある。</p> <p>■ + ■ 81.6%</p>		<p>いじめはどんな理由があってもいけないことだ。</p> <p>■ + ■ 96.7%</p>	
<p>人の役に立つ人間になりたい。</p> <p>■ + ■ 93.4%</p>		<p>どんな人でも仲良くできるよう、心がけている。</p> <p>■ + ■ 90.1%</p>	
<p>iPad を使用して家で自主学習している。</p> <p>■ + ■ 61.4%</p>		<p>気持ちのよいあいさつが身に付いている。</p> <p>■ + ■ 81%</p>	
<p>外国語の時間が楽しい。</p> <p>■ + ■ 80.9%</p>		<p>年間 50 冊の目標に向けて、読書がんばっている。</p> <p>■ + ■ 69.6%</p>	
<p>習った英語を使って ALT と簡単な会話ができる。</p> <p>■ + ■ 69.7%</p>		<p>休み時間は楽しく遊んでいる。(室内も含む)。</p> <p>■ + ■ 96.2%</p>	
<p>学校が楽しい。</p> <p>■ + ■ 86.2%</p>		<p>毎朝朝食を食べている。</p> <p>■ + ■ 94.9%</p>	
<p>授業は楽しい (分かりやすい)。</p> <p>■ + ■ 84.7%</p>		<p>教科専科の授業がわかりやすい。 (5・6年生は理科、音楽、図工 3・4年生は音楽) ※回答者 770名</p> <p>■ + ■ 89.8%</p>	
<p>交通ルールを守って登下校している。</p> <p>■ + ■ 94.2%</p>			

学校生活に関する職員アンケート結果

回答者 57名

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

<p>児童に基本的な学習習慣を身に付けられた。</p> <p>■ + ■ 92.9%</p>		<p>児童相互が明るくあいさつや返事を交わす支持的な学級の雰囲気づくりに努めている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>	
<p>学校目標を意識し、児童の学力向上に向けて、授業改善に努めている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>		<p>読書量を増やすための方法を講じている。</p> <p>■ + ■ 84.3%</p>	
<p>タブレット (iPad) を活用した授業を複数教科において積極的に取り入れている。</p> <p>■ + ■ 89.5%</p>		<p>体罰のない子供の人權に配慮した指導を行っている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>	
<p>児童の主体的な家庭学習の習慣化につながる指導を行っている。</p> <p>■ + ■ 80.7%</p>		<p>市いじめ防止プログラム、道徳や学級活動など教育全般をとおして、いじめを予防するための指導支援に努めている。</p> <p>■ + ■ 98.2%</p>	
<p>児童の個性を配慮し、個に応じた個別最適な指導に心がけている。</p> <p>■ + ■ 98.2%</p>		<p>自分のものや学校のものを大切にする指導に努めている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>	
<p>一人一人の内面をとらえ、カウンセリングマインドで理解するように努めている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>		<p>自分の校務分掌について、その役割を考え、積極的に取り組んでいる。</p> <p>■ + ■ 96.5%</p>	
<p>看護当番や自分の管理場所に責任をもち、点検整備に努めている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>		<p>「報告・連絡・相談・確認」を確実にしている。</p> <p>■ + ■ 98.2%</p>	
<p>学年のスタッフと連携を密にし、児童に対して同一歩調で指導、支援している。</p> <p>■ + ■ 100%</p>		<p>勤務外時間が増えすぎないように、時間を意識した働き方に努めている。 (月の超過勤務時間 40 時間)</p> <p>■ + ■ 94.7%</p>	
<p>スクリレ、classroom、電話連絡、面談等にて、保護者との連携が深められるよう努力している。</p> <p>■ + ■ 98.3%</p>		<p>自分のキャリアステージに沿った資質向上を図っている。</p> <p>■ + ■ 93%</p>	
<p>児童の変化を捉え、問題の早期解決を図っている。</p> <p>■ + ■ 100%</p>			

【保護者アンケートから】

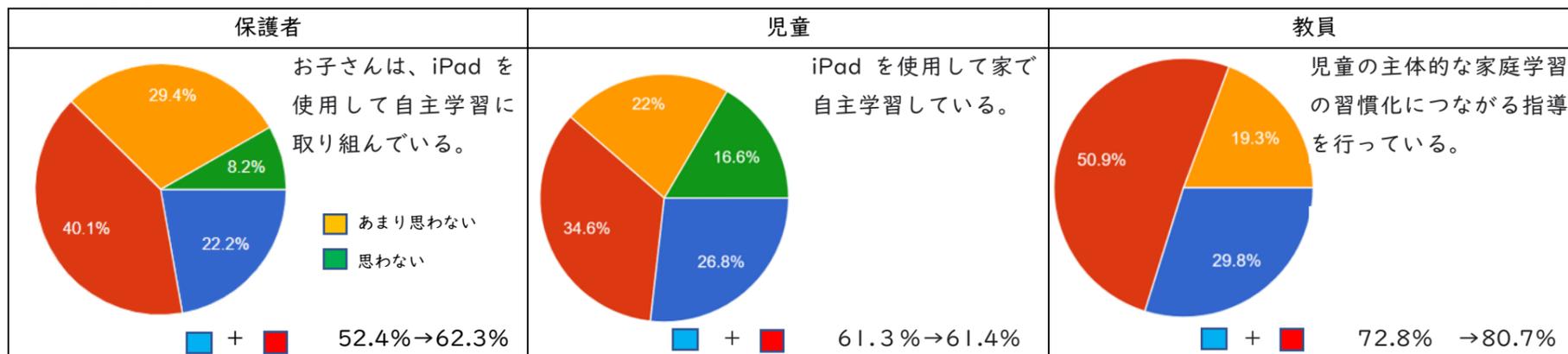
○ 16項目の設問で、肯定的回答（■ そう思う+■ まあまあそう思う約80%以上）が12項目あった。

○ 令和6年度との同一設問比較では、16項目中12項目で向上、大きな低下はなく全体的な向上傾向を維持している。

・90%以上の項目→	8 交通ルールの遵守	■ + ■	97.9%	+0.4
	12 電話や来客者への丁寧さ	■ + ■	95.4%	+1.3
	4 電子黒板、iPadの活用による、社会で活用する力の育成	■ + ■	91.2%	+2.3
	13 スクリレ、Classroom、面談での保護者との連携	■ + ■	90.9%	+0.5
	10 いじめのない学校づくり	■ + ■	90.1%	+0.7
・大きく向上→	3 iPadを活用した自習学習への取組	■ + ■	52.4%→62.3%	+9.9

○ 令和5年度より低下傾向の「6 あいさつ」は、昨年度との比較で「-0.7ポイント」で73.9%と、8割を切っている。習慣化のための指導だけでなく、あいさつの意義や大切さの指導も併せて継続し、進んで先に挨拶ができる児童へと育成していきたい。

○ 「3 iPadを活用した自主学習への取組」については、向上しているとはいえ数値はまだ低い。回答では、児童の数値は「+0.1ポイント」と伸びが見られない。教師は、令和6年度の反省を生かしての取組が成果となり、令和7年度は「+7.9ポイント」となっている。発達段階に応じた自主学習の在り方、有効的な活用方法等について、児童の学びの幅が広がるような指導法や指導体制の工夫改善にさらに努める、浸透させることで、保護者、児童、教師間の認識の差が埋まると考える。



【児童アンケートから】

○ 「休み時間は楽しく遊んでいる」(■ そう思う+■ まあまあそう思う)と答えた児童が96.2%であり、友達と友好的な関係を築いて楽しんでいる様子が数値からも読み取れる。

○ 「自分によいところがある」について、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)と答えた児童が81.6%であった。肯定的に捉える児童が多い中、65人が思わないと答えている。互いに認め合う機会の設定や自己をみつめる時間の設定等の取組をさらに継続し、自分のよさを実感できるよう支援を進めていく。

○ 「人の役に立つ人間になりたい」について、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)と答えた児童が93.4%であった。役に立ちたいと考える児童が多い中、一方で、19人が「思わない」と答えており、人と関わる機会やそのときの感情を振り返る時間をとおして、一人一人の児童に丁寧に寄り添い、人と関わることのよさを受け入れられるよう支援を進めていく。

○ ★1 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」については、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)は96.7%

★2 「どんな人でも仲良くできるよう、心がけている」については、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)は90.1%と、高い数値を保っている。一方、「思わない」と回答した児童が、★1では15人、★2では28人おり、いじめはいけないことについて道徳等でしっかりと認識できるよう指導・支援を継続していく必要がある。

【教員アンケートから】

○ 令和7年度は令和6年度の反省を生かし、全職員が一丸となって取り組んだ成果が8項目で100%達成と、高い数値となって表れた。

○ 令和7年度も、「支持的な学級の雰囲気づくりに努めている」「体罰のない子供の人権に配慮した指導を行っている」「自分のものや学校のものを大切にする指導に努めている」は全職員で意識することができた。

また、「児童の変化を捉え、問題の早期解決を図っている」は、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)と答えた教員が100%「+1.7ポイント」であった。「一人一人の内面をとらえ、カウンセリングマインドで理解するように努めている」も(■ そう思う+■ まあまあそう思う)と答えた教員も100%「+8.4ポイント」であり、今後も、職員一人一人が児童の個性を認め、励まし寄り添う指導・支援の継続をし、さらに実践力を高めていく。

○ 「勤務外時間が増えすぎないように、時間を意識した働き方に努めている(月の超過勤務時間40時間以内)」は(■ そう思う+■ まあまあそう思う)の回答が94.7%「+15ポイント」であった。ワークライフバランスを整え、維持できるよう努めていく。

○ 「自分のキャリアステージに沿った資質向上を図っている」は、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)の回答が93%「+6.5ポイント」となり、向上している。さらに専門性を向上させるため、大規模校を生かしたOJT研修や児童の指導に役立つ実践的研修を推奨していく。

○ 「読書量を増やすための方法を講じている」は、(■ そう思う+■ まあまあそう思う)の回答が84.3%「+8ポイント」である。工夫して本の紹介等を行うなど、寄贈していただいた多くの本も読破できるよう手立てを講じていく。

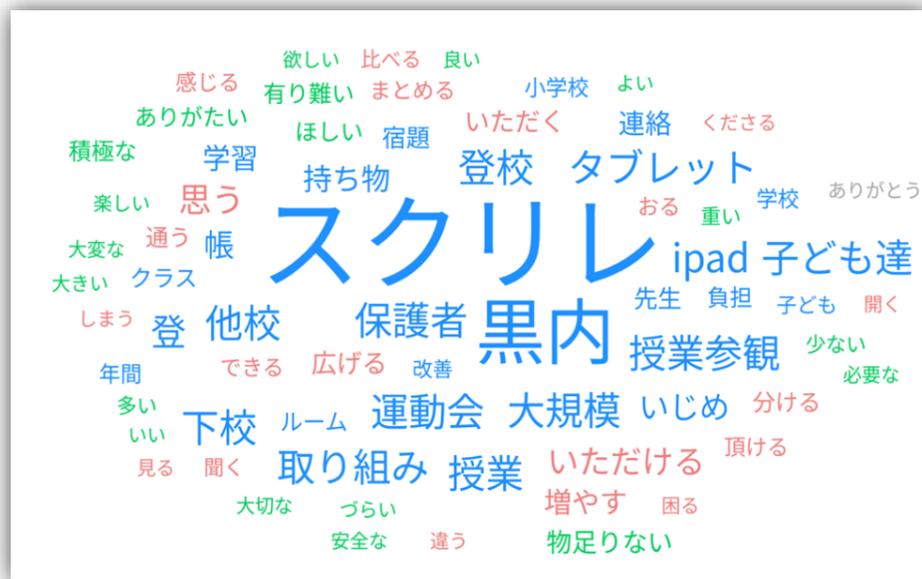
【保護者のご意見から】 ※ご芳名をいただいたご意見につきましては、ご回答を含め掲載させていただきます。

・スクリレ、1人1台端末(タブレット)、過大規模、登下校、体育的行事、学校施設の安全(施設等)に関するご意見、ご要望を多数いただきました。教職員への感謝の言葉、負担の多さを気遣ってくださる言葉を多くいただきました。

① 連絡手段の整理と効率化について

「情報が分散して分かりにくい」とのご指摘を多数いただきました。

◇改善：スクリレには、新たな機能が加わるなど、改善が図られています。連絡事項の掲載場所については、緊急連絡は【緊急】と見出しをつけてスクリレ、学年・クラスへの詳細については、保護者へはスクリレ、児童へはクラスルーム、年間予定はスクリレで配信後、学校ポータルサイト内に掲載します。また、持ち物連絡の早期化に努めます。



② ICT（タブレット）の活用と制限について

学習効果と私的使用（YouTube 等）のバランスについて、懸念をいただいております。

◇対応： 発達段階に応じて児童への説明をしていきます。「タブレット」と「鉛筆とノート」による学習との使い分けも検討しています。利用時間については、家庭学習への影響を考慮し、市教委とも連携していきます。

③ 運動会のあり方について

競技内容や開催時期、観覧場所へのご意見をいただきました。

◇検討： 令和7年度の運動会運営を振り返り、過大規模校でも「子供たちの頑張りがよく見える」配置や種目構成を検討します。熱中症リスクと教育過程のバランスを考慮し、次年度計画の議題といたします。

④ 過大規模校における各種体験格差と児童の運動量について

「他校との各種体験格差」や「休み時間の運動量不足」へのご不安について

◇現状と対策： 学校施設・一度に活動できる人数の制限はありますが、外部講師の活用や体育館の開放時間の工夫、近隣施設との連携など、子供たちが多様な体験・運動機会を得られるよう、知恵を絞ってまいります。

⑤安全・コミュニケーションについて

登下校の安全や、トラブル時の対応についてもご指摘をいただきました。

◇方針： 児童の安全を最優先とし、必要に応じて警察やPTA、市教委と連携を強化します。また、トラブル対応の際は「まず子供の思いに耳を傾ける」姿勢を改めて全職員で徹底し、ご家庭との信頼関係を大切にまいります。

以上、数多くのご意見・ご指導をいただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。「児童のしあわせ」のために、保護者・地域・教職員、そして黒内小に関わる全ての人の「ウェルビーイング」を目指し、教職員一同精進してまいります。引き続き、本校の教育活動にご支援・ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。